

科目名	視覚機能病態学 I 講義			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎講師 大鹿京子					科目ナンバー	T1C113
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	講義
授業の概要	視覚機能学修の基礎として、眼の発生、構造、生理機能を学ぶ。種々の眼疾患の病態を学ぶ。						
授業の到達目標	①眼の発生、構造分化を説明できる。 ②各種眼疾患を説明できる。 ③眼科で行われる検査を説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 角膜・強膜の一般構造を説明できる。			
	2	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 ぶどう膜の構造を説明できる。			
	3	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 水晶体の構造を説明できる。			
	4	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 硝子体の構造を説明できる。			
	5	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 網膜の構造を説明できる。			
	6	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 隅角の構造と房水について説明できる。			
	7	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 結膜の構造を説明できる。			
	8	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 眼瞼の構造を説明できる。			
	9	大鹿 京子	講師	眼の解剖について学ぶ。 涙器の構造を説明できる。			
	10	大鹿 京子	講師	眼の発生について学ぶ。 眼各部の発生を説明できる。			
	11	大鹿 京子	講師	眼科の検査について学ぶ。 細隙灯顕微鏡・角膜の検査の原理や方法を説明できる。			
	12	大鹿 京子	講師	眼科の検査について学ぶ。 隅角・眼圧検査の原理や方法を説明できる。			
	13	大鹿 京子	講師	眼科の検査について学ぶ。 涙液検査の原理や方法を説明できる。			
	14	大鹿 京子	講師	眼科の検査について学ぶ。 蛍光眼底造影検査の原理や方法を説明できる。			
	15	大鹿 京子	講師	眼科の検査について学ぶ。 光干渉断層計(OCT)の検査の原理や方法を説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回りの授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	講義開始日に指示する。						
参考書	随時 指示する。						
成績評価の方法および基準	授業内課題を含む口頭試問80%、レポート20% 欠席・遅刻・早退は減点の対象となる。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (ディプロマ・ポリシー3に相当する)						